## 第38回 タオルを贈る運動

タオル・メッセージの回収期間
2024年
**1月3回～4回**
1月8日(月)～1月19日(金)

注文用紙といっしょに通い箱に入れるか、配達担当に直接お渡しください。

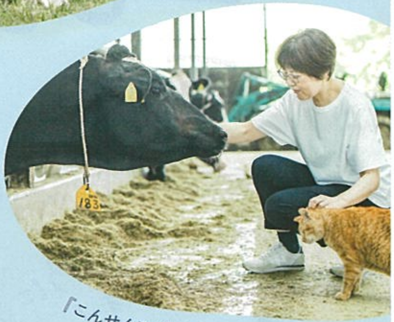
回収は年明けから

良質な生乳の生産に役立てています

私たちが飲む牛乳づくりを応援

# 酪農家にタオルを届けよう

『酪農家の低脂肪牛乳』の生産者（埼玉県）



『こんせん72牛乳』の生産者（北海道）

『酪農家の牛乳』の生産者（茨城県）

『いわて奥中山高原の低温殺菌牛乳』の生産者（岩手県）

## こんな「未使用タオル」をお願いします

**色**
**白がベスト**
牛の乳房などをふいているときに出血などがわかるため
**色柄物でもOK**
作業用具などの清掃にも使うため

**大きさ**
**フェイスタオルがベスト**
バスタオルやボディタオルでもOK

**未使用**
**のし紙や袋はそのままでOK**
未使用だとすぐにわかるため

NG **ハンドタオル**
小さすぎるため

NG **てぬぐい**
うすいため

NG **使用済み**
洗濯済みでもご遠慮ください

未使用タオルがない方でも参加できます

**184594** 1口(1枚) **130円**

注文用紙またはインターネット注文で上の6ケタ番号と口数を記入すると、口数に応じた枚数の新しいタオルをパルシステムが代わりにお届けします。

組合員の声から始まったカンパ方式

**受付期間**
**1月3回～4回**
1月8日(月)～1月19日(金)

## 第38回 タオルを贈る運動

**第1回から贈ったタオルは**

**のべ 263 万枚**

組合員の「生乳の風味が生きた牛乳を飲みたい」という想いと、
生産者の「より安全でおいしい牛乳を届けたい」という
想いがつながり、生まれたのが
低めの温度で殺菌するパルシステムの牛乳。
この製法には、菌数の少ない生乳が欠かせないため、
生産現場では毎日たくさんのタオルを使用して
清潔な環境を保っています。
そこで組合員の声から1985年にスタートしたのが
「タオルを贈る運動」。
昨年度はタオル42,321枚と
メッセージ2,268通を産地に贈りました。

### 産地ではこんなふうに使っています!

生乳の菌数を抑えるため
乳房をふいて清潔に。
※一例です

洗って繰り返し使い、
約1カ月で交換。

お湯に浸したタオルを使います。

### 組合員からの"声"が励みです。

生産者にとって、みなさんからのメッセージは
本当にありがたいものです。
コロナ禍で需給のバランスが崩れたり、
飼料や資材の価格が高騰したりと、
苦しいこともまだまだ多いですが、
ここでどれだけふんばれるかが勝負どころ。
日々新しいことにも挑戦しながら、
前向きに取り組んでいます。
私たちはおいしい牛乳を一生懸命作るから
「生産者を応援しているんだ」って気持ちで
毎日牛乳を飲んでもらえるとうれしいですね。

うまがっぺ牛乳協議会会長
外之内(との うち)昌男さん(茨城県)

**タオルを贈る方も カンパの方も メッセージをお待ちしています**

メッセージフォーム
から贈る場合は ▶

### 1 メッセージを贈る牛乳を ○(マル)で囲んでください。

※複数の産地に贈る場合は、本チラシをコピーして使用するか
インターネットで投稿してください。

### 2 メッセージ、所属センター名を記入し、本用紙とタオルをいっしょに通い箱に入れて提出してください。

ご利用の生協名【パルシステム】

センター名【　　　　センター】

生産者へ【　　】枚のタオルを贈ります

### 3 生産者に届けますので、メッセージやイラストをどうぞ! 切り取らず、通い箱に戻してください。